

柳ヶ浦駅待合室

暫定リニューアルを行いました

平成34年度の完成を目標に事業を展開しているJR柳ヶ浦駅周辺整備事業の一環として、現駅舎の待合機能を充実させる目的でベンチ及びカウンターの設置を行いました。ベンチ及びカウンターの設置については昨年度の市民ワークショップや柳ヶ浦高校生徒のワークショップで設置を望む声が多数あり、今回試験的に設置しました。

○柳ヶ浦高校生徒の作業風景

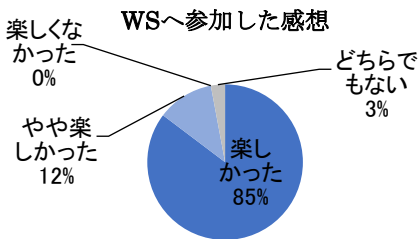
今回の計画では、設置前の2月27日に柳ヶ浦高校生徒に協力していただき使用する木材のやりがけ及び防腐剤の塗布をお願いし、1・2年生の合計34名が参加、9班に分かれて作業を行いました。始めに製材所の方から作業の手本や注意点の説明を受け作業を開始しましたが、生徒の皆さんの協力により予定時間より早く終了することができました。

作業終了後には、皆さんの成果品を前に記念撮影を行い、アンケートにも協力していただきました。「初めての作業でしたが楽しくできました」「ベンチやカウンターが完成したらぜひ見に行きます」等、生徒の皆さんにも好評でした。



【主な意見】

- ・イスに絵を書いたら良いと思います。
- ・普段できない貴重な体験ができたので良かった。また機会があったら参加したいです。
- ・学生（プロジェクトメンバー）の方々と一緒に塗料を塗ったり、話したりとても楽しく過ごせた。また、学生の方が優しく接してくれて話しやすかったです！



○関係団体と共同作業

柳ヶ浦高校生徒に協力していただいた木材を使用して、3月7日、8日にベンチ製作とカウンターの設置作業を行いました。地元の柳ヶ浦アーバンデザイン会議のメンバーや商工会議所、観光協会、市役所関係課と柳ヶ浦駅プロジェクトメンバーで2日間にわたって作業を行いました。

1日目は天気が不安定だったこともあり柳ヶ浦三区の貴船神社でベンチ1基と柱の金具を取り付けました。皆さん、最初はおぼつかない手つきで電動工具を使っていました。作業が進むに連れて慣れてきたこともあり効率よく作業を終えることができました。

また、2日目はベンチ製作班とカウンター設置班に分かれて作業を行いました。天気にも恵まれたためベンチ製作班は駅西側市有地で青空の下、組み立てを行いました。引き続きの作業でしたので、要領も覚えて順調に組み立てを行った結果、昼前には予定数の長ベンチ2基と小ベンチ4基すべての組み立てを完成しました。カウンター設置は柱や梁の設置も併い大がかりな作業となり図面を見ながら知恵を出し合い設置を行った結果、参加者の協力により夕方には完成をすることができました。

ベンチについては、宇佐産業科学高校生徒にも製作を依頼しており、今回の設置には間に合いませんでしたが、完成品が届き次第待合室に設置をする予定にしていますので楽しみにお待ちください。

○作業を終えて・・・

今回の柳ヶ浦駅待合室暫定リニューアルには地元高校生の皆さん、地元団体の協力の下、立派なものが完成したと自負しています。また、製作に参加された方は特に愛着のあるものとなっていると思います。皆さんが利用する際には、是非とも色々な方が関わって完成したものである事を心の片隅において利用していただくと幸いです。



待合室に夏目漱石の句

昨年12月30日に商工会議所により、夏目漱石が120年前の正月に宇佐神宮参拜のため柳ヶ浦駅に降りた際に詠んだ句「蕭条（しょうじょう）うじょう」たる古駅に入るや春の夕」を飾りました。この句は当時の柳ヶ浦駅が「物寂しい雰囲気」であったことを表したと解釈できます。このような歴史は、柳ヶ浦駅「記憶遺産プロジェクト」にも通じるものがあり我々としても大いに参考となるものです。皆さまも駅を利用する際に漱石の句に足を止めて、当時を思い浮かべながら歴史を感じていただくと、今までは違った視点で柳ヶ浦駅に愛着が湧いてくるのではないかと思います。



ななつ星お出迎え終了

平成29年8月22日から毎週火曜日に柳ヶ浦駅に停車していたJR九州クルーズトレインななつ星が観光プランの変更により柳ヶ浦駅での下車を3月5日に終了しました。それに伴いななつ星のお出迎えを終了しました。

お出迎えは、毎週火曜日に地元柳ヶ浦アーバンデザイン会議のメンバーと観光協会で行っており、約一年半に渡って、宇佐市のおもてなしとして行っていました。最終日には、遠足帰りの子供たちも加わって最終日に相応しい賑やかなお出迎えとなりました。なお、ななつ星自体は引き続き停車はしますので電車をご覧になりたい方は、毎週火曜日の16時（変更や運休の可能性あり）に柳ヶ浦駅に行ってみてください。

